

人間科学、社会科学、理学、生活技術の 諸科学を継承し発展させる新学部案

- 学問の継承と発展は大学の基本的使命
- 科学の発展は諸分野の交流によって生まれる
- 他の大学との人材の交流が必要
- 大学院の構成も重要
- 学部構成案
 - 暫定名称：総合科学部
 - 人間科学科、社会科学科、総合理工学科
 - 将来構想として人間社会学部、総合理工学部

学問の継承と発展は大学の基本的使命

- 科学、学問、文化の発展には批判的創造的な思考が求められる。
 - 新しい知見と思われることに対しても常に批判的な検討がなされる必要がある。
 - 批判的検討は多面的に行われるべきであり、経験、分野が少しずつ異なる人々によっても行われるべき
 - 場合によっては、他の分野の人の批判が必要も。(倫理的側面など)
- 発展は過去の遺産の継承の上になされる
 - 知的探究活動は過去の取り組みの上に築かれる。何もないところから、一人で作り上げられない。
 - 分野を消滅させると、復旧が難しい。その分野の人がいないので半永久的に欠落。

科学の発展は諸分野の交流によって生まれる

- すべての分野は相互に影響しあっている
 - 医療技術の発展に対する物理、化学分野の貢献
 - X線、MRIによる診断、薬剤の化学合成、精製
 - 研究手段として他分野の成果の利用
 - 情報通信機器の利用、データ解釈で統計理論を使用し有意性の検討
 - 身近に他分野の研究者がいることのメリット
 - 分野ごとに得意なものが異なっている。計算機の不得意な人も、電子計測技術に不慣れな人も、近くに専門家がいれば簡単に情報を入手できる。

他の大学との人材の交流が必要

- 分野の重要性は時代によって変わる可能性がある。種がなければ育たない。
 - 分野のアクティビティによって講座数を変えうる
- 分野の特化は、他大学との人的交流を妨げる可能性がある。
 - 他の大学から、人材の供給が難しかったり、育てた研究者の行き先がない場合もある。
 - 評価の物差しがなくリスクも増える。
- 学部名称は重要
 - 名称が文科系的なところに理科系的なものをおくのは不自然。評価分野、他大学の学部構成を考慮すべき。入試形態、試験科目も考慮、将来構想もあってよい。

大学院の構成も重要

- 大学組織は教育と研究が基本的使命
 - 高度化する学問分野の教育に対応するためには大学院が不可欠
 - 優秀な人材は、研究者として育てることも大学の使命
- 学部組織と同じ重さで大学院構想を考慮すべき
 - 修士学位の種類
 - Master of Arts, Science, Engineering
 - 博士課程の設置を構想すべき

学部構成案 1

- 総合理工学科
 - 化学講座：無機化学、有機化学
 - 計算機科学講座：計算機シミュレーション、情報工学
 - 地球、環境科学講座：地質学、地球物理学
 - 数学・統計学講座：解析学、代数学、幾何学、統計学
 - 物理・天文学講座：天文学、基礎物理学、応用物理学
 - 生物学講座：動物学、植物学、遺伝学、免疫学
 - 生活科学講座：食物学、衣服学、住居学
 - 産業技術講座：電気、機械、農学
 - 学部昇格時に講座を学科に再編

学部構成案 2

- 人間科学科

- 美学、哲学講座
- 国語、外国語、言語学系講座
- 美術系講座
- 音楽系講座
- スポーツ健康系講座
- 生活福祉講座？(理科系にいれるか文科系か)

- 社会科学科

- 経済学講座
- 地理学講座
- 歴史学講座
- 政治学講座
- 社会学講座

参考URL

– シカゴ大学学部構成

- <http://www.uchicago.edu/uchi/academics/menu.html#>

– 理学関係学部の意義

- <http://www.sclib.kyoto-u.ac.jp/whats/>

• 学部分類：新学部はどこに所属？

- 総合、人文、社会、理学（工学、医学、経済、教育）